

平成 28 年度 広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）募集要領

1 目的

病院以外の実習施設で次に掲げる分野（以下「特定分野」という。）について実習指導の任にある者（以下「実習指導者」という。）又は、将来これらの施設で実習指導者となる予定の者が、実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識、技術を修得することを目的とする。

＜特定分野＞

- ・保健師養成所における公衆衛生看護学
- ・助産師養成所における助産学
- ・看護師養成所における老年看護学，小児看護学，母性看護学及び在宅看護論
- ・准看護師養成所における老年看護，及び母子看護

2 主催者

広島県

3 委託実施機関

公益社団法人 広島県看護協会

4 開催期間

開催期間 平成 28 年 9 月 5 日（月）～9 月 14 日（水）の計 8 日間（42 時間）
研修時間 原則として 午前 9 時～午後 5 時

5 開催場所

広島県看護協会会館（〒730-0803 広島市中区広瀬北町 9-2）

6 受講資格

次の各号に該当する者とする。

(1) 次のいずれかに該当する実習指導者の任にある者であって、現に実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者。

受講対象者	実習施設
ア. 保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師	① 市町村② 保健所③ 地域包括支援センター④事業所 等
イ. 助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師	① 診療所② 助産所③ 保健所④市町村保健センター⑤ 母子保健センター ⑥ 助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師
ウ. 看護師等養成所における 老年看護学実習，小児看護学実習，母性看護学実習又は在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師，助産師又は看護師	① 診療所 ② 訪問看護ステーション ③ 介護老人保健施設④ 保健所⑤ 地域包括支援センター 等
エ. 准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師，助産師又は看護師	① 診療所 ② 介護老人保健施設 等

(2) 全日程の出席が可能な者

7 受講定員

40人

8 講習会カリキュラム

国の「特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に準ずる内容とし、別紙「平成28年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）教育内容」のとおりとする。

9 修了証の交付

原則として、全科目、全時間の履修をもって修了と認め、修了者には県知事名による修了証を交付する。

なお、修了認定基準は別途定める。（原則として、全日程に出席した者）

10 受講料等

県内受講者 10,000円

県外受講者 20,000円

※県内受講者とは、広島県内に現在の就業先及び就業予定先の住所がある者

県外受講者とは、広島県以外の県に現在の就業先及び就業予定先の住所がある者

※受講者の宿泊費・交通費・食費・図書費・資料費等に必要経費は、受講者の負担とする。

なお、受講料の徴収については、受講決定後、別途看護協会より通知する。

11 提出書類

受講希望者は以下の提出書類を、各県衛生主管部（局）長宛に提出する。

(1) 受講申請書（別紙様式1）

(2) 施設長の推薦書（別紙様式2）

※受講者が所属する施設長による推薦書であること。

※所属施設長の公印の押印があること。

12 受講者決定

受講者は、提出書類で選考し、県で決定する。

受講者の決定後、受講希望者には各県を通じて決定通知をする。なお、受講決定後に参加辞退することのないよう、全日程参加できる人を推薦すること。諸事情により参加できなくなった場合は、早急に連絡すること。

13 宿舎等

必要時各自で準備すること。

また、駐車場はないので留意すること。

14 持参物

筆記用具、看護師等養成所の実習要項^{※1}、実習指導案の作成に必要な資料や文献など。その他、必要時、別途連絡する。

※1 現在、看護師等養成所の実習を受け入れている施設は、養成所から提示されている「実習（指導）要項」を持参してください。

平成28年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野) 教育内容

区分	授業科目	学習目標	内容	時間数	形態
教育及び看護に関する科目	教育原理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	1. 教育の意義と目的 2. 教育活動の特性	3.5	講義
	教育心理	人間の発達と学習課程における青年期の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する。	1. 青年心理学 2. 学習過程における心理		
	教育方法・評価方法	教育方法の基本的な方法や技術, 評価方法について理解する。	1. 教育方法(授業の形態, 方法など) 2. 教育方法と教材の活用 3. 評価の目的, 評価方法	3	講義
	看護教育課程	看護基礎教育の課程とその概要について理解する。	1. 看護教育課程(指定規則, 指導要領等) 2. 教育計画とその内容 3. 実習指導計画	3	講義
実習指導に関する科目	実習指導の原理	実習指導の基本と実習指導のあり方について理解する	1. 実習の意義と位置づけ 2. 実習の目的・目標 3. 実習指導者の役割	3	講義
	実習指導の実際 I	実習指導方法を理解する。	1. 指導計画の立案と指導方法 2. 評価時期と方法	3	講義
	実習指導の実際 II	実習指導の展開について理解を深め, 演習等を通してその実際を学ぶ。	1. 実習場面の再構成 2. 実習指導案の作成 3. 実習指導計画の展開と評価	26.5	演習 (発表含む)
				42	

受 講 申 請 書

ふりがな 氏 名	(男・女)	<写真貼付欄> 縦 5 cm×横 4 cm 〔 写真は 3 か月以内に 撮影したもので、無帽正 面から撮影したもの 〕
生 年 月 日	昭和 年 月 日 歳 平成	
住 所	〒	
電 話		
		平成 年 月 日撮影

個 人 調 査 欄

勤務場所 現在の	ふりがな 施設名称				
	所在地	〒	TEL		
	現在の職名				
学 歴	学 校 名		卒業年月	修業年限	
	専 門 学 歴		昭和 平成 年 月	年	
			昭和 平成 年 月	年	
			昭和 平成 年 月	年	
		昭和 平成 年 月	年		
職 歴	就業場所（施設名）	主な勤務内容	職名	就業年月	
				昭和 平成 年 月 ~ 現在	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
				昭和 平成 年 月 ~ 昭和 平成 年 月	
臨 床 経 験 年 数	職種	勤務年数		取得免許	免許の種類 (※取得している免許全てに○印を付ける)
	保 健 師	年 月		取得 免 許	保 健 師
	助 産 師	年 月			助 産 師
	看 護 師	年 月			看 護 師
	准 看 護 師	年 月			准 看 護 師

推 薦 書

平成 年 月 日

氏 名

上記の者を平成28年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)の受講者として推薦します。

推薦理由

施 設 名

所属施設長 職名
氏名

公印

平成28年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）申請書等記載要領

1 別紙様式1「受講申請書」欄について

- (1) 必ず受講申請者本人が記載すること。
- (2) 年齢は、平成28年4月1日現在の年齢を記載すること。
- (3) 写真貼付欄には、3か月以内に撮影した正面、脱帽、上半身像のもので、縦5cm×横4cmのサイズ（カラーでも白黒でも可）のものを貼付する。裏面に、所属名と氏名を記載しておくこと。

2 別紙様式1「個人調査」欄について

- (1) 現在の勤務場所
 - 「現在の職名」は、勤務先での役職又は、役職のない場合は、看護師、助産師、保健師等の職名を記載する。
- (2) 学歴
 - 看護職に関わる専門学歴のみ記載する。
- (3) 職歴
 - 「就業場所」は、新しいものから記載し、欄が足りない場合は別紙に記載する。
 - 「主な経験内容」は、看護師等養成所の勤務経験は担当領域を記載し、病院等の勤務経験は「内科病棟」「婦人科外来」等の診療科名がわかるような記載をする。
- (4) 臨床経験年数
 - 平成28年3月31日現在の年数を記載する。
 - 職種毎の全ての臨床経験年数を記載する。
 - 職種ごとの勤務年数の合計は、原則として、職歴欄の就業年月の年数合計と一致すること。一致しない場合は、その理由を余白に記載すること。（例 12ヶ月育児休業）
- (5) 所属施設の実習受け入れ状況
 - 施設に確認し記載する。
 - 複数の実習科目や養成所を受入れている場合、該当するものにすべて○印をする。
 - 実習を受入れている養成所名は、すべて記載する。
- (6) 今後の予定
 - 該当するものに○印をする。
 -

3 別紙様式2「推薦書」について

所属施設長が記載し、必ず公印を押印すること。